一月中の木材標準

十二月中

0)

安東の商况概况

の (單位車) (単位車) (単位重) (単

でであるが、既に日本各地の を出商ご購入契約が成立して であるだっている。

認識不足も甚し

のるも日下満ツ兩者間の意見

「ハルビン園通」北磯問題に ・ 本系組合が日本品とのあり、 ・ お組合の特色でするだ別の経 時 ・ は組合の特色でするでころは ・ 本系組合が日本品を絶対排除 ・ するに對してこれは日本品に ・ するに對してこれは日本品に ・ するに對してこれは日本品に ・ するに對してこれは日本品に ・ するに對してこれは日本品に ・ するに對してこれは日本品に

で決意し、議刑の側を協力しを決意し、議刑の側を協力しては溝賃値下断行

北鐵運賃値下、國幣建

ノ聯側同意か 金氏バンドウラご重要會見

に衝突生産品も増加する形勢

常態に復す

在既に対蘇戦甲を開始せざりて製盛さるるここさなるべして製盛さるるここさなるべし

死れて行ってやるがい、だらう

お、やがて、汽車が進行を始めるま、汽車に乗り込んだのである

でうど跳へ向きだ。子供を一緒に 君が、チチハルへ行くのは、ち

窓ガラスをガター と描すつた。

茂彦は、「服も知らずに、中景の

銀器

中谷時計店

全

洒

が、確かなる筋の消息に依れれる異との一部改正は昨年末以後を表の一部改正は昨年末以

日本品のみの

購買組合設立

白系露人が赤系に對抗して

面の注目を惹いてる が顕著なためである。 られる。羊毛は既約品の輸入 が衛相雷ある見込みで雑品輸 が衛相雷ある見込みで雑品輸 ものさしても今後入超額は相 にのさしても今後入超額は相 にのさしても今後入超額は相

大使館附武官

及社會組織が散々月以上も機 付いて遺は頗る疑問さする でにして遺は頗る疑問さする

復活 新京輸入組合

本線に點々飼育せられてある を用ひず在来の飼育箱数は北磯東南面に於て約一千箱を推定せ られる、吉林方面は殆ご英箱 南満方面に於て約一千箱を推定せ で南満方面に於ては一千箱を推定せ で南満方面に於ては約二萬貫程度で南流方面は之に比し俺めて 「ペルリン十日最調通」ドイツは今回大使館附武官に任命した。氏大使館附武官に任命した。氏大使館附武官に任命した。氏大使館附武官に任命した。氏大時館である人である

於て强大になればなる程暇甲於て弱大になればなる程暇甲 四、合計金十萬一千一百四四、合計金十萬一千一百四 二、內地金六萬二百四十四 十四圓四十二國也 也

も言はないので、彼は、駆び出し

でで、東京へ行きたいなあ-たやうに、突然。

大光作の出來ばへは日本一!!

是雛人形大賣出し

この

縣 價は…

吃度皆様の御氣に召します

新京日本橋

百貨店

この優美さに

四、出資排込額金十五萬九年八百圓也 特通出資排込額金十五萬九年八百圓也 十八百圓也 大戶三十八圓二錢也 九、購買傅票 本月中取扱高 金二萬六千九百六十四圓六 特別出資口數 八八四口、特別出資口數三、一九六口 報行級新加入者二名增加 銀行級新加入者二名增加 合計四、O八OD

ヶ所、使用人員九二〇 特數九二、使用個所六

来願子―ション一九三 四年一月十七日戦論説 れて居る新日路戦甲は來るべ ま二ヶ年以内に行はれるが然 らざれば無別延別さなるべし らざれば無別延別さなるべし たざれば無別延別さなるべし たざれば無別延別さなるべし なれるも蘇聯が攻勢に出でざ なは多くの場合電標のとさき もしては軍首議者が特利の目 月に比し一、二五一捆の減少に比し九三六捆を増加、昨年同日に比し九三六捆を増加、昨年同日に比し九三六捆を増加、昨年同日に出る計11、六九九捆で前月に比し九三六捆を増加、昨年同日に比し一、二五一捆の減少 商祝和持直し、相揚は前月にの買出もあり。十二月に入り 比し一等品に於て五扇乃至十 第二次五ヶ年計畫は蘇州を非常に強化すべしさ思料せられ 居るこころ第一談計畫は舊西 比利亞廣斯健道に並行し歐州 より太平洋岸に至る新規並氏 は新鐵道建設を包含しまれる

○○○個である

新京日日新聞社

い物さであつた。外はす

「奉天國・」頭州は南北を棚じた市場に光では生産の増加さい、 のさしてこが奨励には至らや ができな、現在瀬湖に ができな、海龍方面の山岳 である。現在瀬湖に がける養蜂地は北蝦東部線ー がける養蜂地は北蝦東部線ー ができな、海龍方面の山岳

取扮高鱼一萬一千八百三十一 商品券 取扱高 本月中

米誌の日露開戦期 一月分成積 本月中殘高金二十六萬七千 一千八百五十圓也 金十一萬

六百八圓四十二個也 現地金二萬六千七百圓

滿州銀行及正降

所在他の部子をに、中佐の観覧があった。中佐の出征後は、師師があった。中佐の出征後は、師師があった。中佐の出征後は、師師があった。 佐は、野児の子魔機でもあった 持つてゐるのであった。そして

二五九四年流行新州豐富着荷致し

着荷案內

ました!!

和か化能小牛 詳、抽未。 2 程と品針物 0

智計三〇九二番

だから、いまの中佐の言葉を物だから、いまの中佐の言葉を物で、無量の思いの籍もつてゐると、その思い語中は、既然を誠に湛ったがあった。中間は、既然を誠に湛ったがあり、己れの殺性へかた。 ではあ、さうであります! と説つめてゐる。 「お出ちゃんは、きつと東京へ行 ったんだよ。そしてお父ちゃんと のたんだよ。そしてお父ちゃんと 中間は既はず釣り込まれた。 連れで行つて 放変は、中間の凝脱の臓に取け なが、下からその肌を見上げなが いまにも泣き出してしまひさうだ ら言つた。彼はもう殊難になって つ行きたいなあー 中尉は、倫更慰める言葉に窮し 一木二、東京へ

をの連り列の が この上編、職助のととを、いる は内心ヘラ(しとして、それを恐れた。 版記は、その父もまた代方不明: 京に居るものだと、一個に信じて



命線を ^{(荒}國 川 友

「はいー」」と、干燥中間は、それである。その人のであった言葉に魅して、思はである。その歌歌と地見とで見たであった。 で、鬼中佐である。その歌歌とだり、かいふ歌しい言葉を聞からとは、中である。その人のいから、斯うとしては思ひ懸けないことであ を吹かせた。 を吹かせた。 を吹かせた。 帯れるのであった。 「い」處へ滅て行ってやるよ」 と、彼は、不思議さらに、中間に - 540

殿殿の戻で、彼は題はず、日頭 は、返除に残った。さうかといって記究されると、中間 て町の野るところは分らないとい 感には、お母ちゃんがゐるの?」 拠しに行くんだよ そのお母さんを

高價買入

小貨

姓 名 在 世

楷

のし。また出戦目をいつて少年を知って、落職させるには忍びない の如し、暫らく聴つてゐたが、

股よべかんざるこことなるが 現在の戦争は軍隊のみにより 取よるのに非くずつが背後に 存する工場銀行及全國氏によ り戦はるるものなり、貝茲に



戦しも言はないつきのはいなんと 生地、家屋 要買 土地、家屋 要買 新京東一條通五四 金光教會 前 一條通五四



个

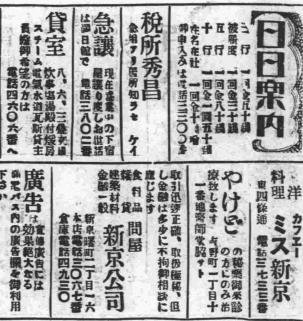
當

地

T







金融股新京公司 倉庫電話四九三〇六七番

路をバス内の廣告欄を御利用田良上口は意傳廣告には

金銀費金 東京都版館(申話三八六西)内東都版館(申話三八六西)内 おりまる所属電がス保を電話三世の二番自宅選町二丁目二七 求貨家

0

向

・月賦販賣の御

障は無料交換 真空管の自然故 以内に生じたる

取付後一ヶ月

大 廣 間 向 7球平165,00 向

> 一、一ケ年間調整 一、一ヶ年間自然 サービス無料 故障は無料修理

販賣特典

ル

I

ヤラ

ヂオの

3

を京の満川を 皆 様の 6 T + 3 0 す 致 かる 嗜 好 ぴ

旅 行 帶 1 1 5,0 0 0 相談に應じます 現金五分引

庭 一 般 6 珠 ¥ 1 50,00

ベルエヤラチオを御存知ですか? 何 3 評 故 番 T 素 す 睛 3

盟の小手川倫子女史が各

各國代衷等東亞氏族展覽會

内外使臣に

翻名舞璽

二月十一日

勅語を賜ふ

非常時の紀元節

百僚有衆夫レ克ク朕カ思ヲ体セヨ帝ニ常り特の有引ニ命シ恩赦ノコトラ行ハシ帝ニ常り特の有司ニ命シ恩赦ノコトラ行ハシ際皇太子明仁親王ノ隆生予懌と逼り其ノ慶と 紀元の佳節にあたり ヒラ同シクセンコトラ念と紀元ノ佳恩赦い韶番を漢 せすらせられた

ラムコトア宝ム 宮相謹話 國務大臣副者

〔東京國通〕 湯淺宮相は十一 法相謹話

賜ひ廣大な御に徳に只々感辺が、今中一戦同仁の御思澤を が、今中一戦同仁の御思澤を が、今中一戦同仁の御思澤を 関告ところを知らなかつた はし恐が、今中一戦同仁の御思澤を

山本内相奉讃の奉答文は左の〔東京図通〕齋心首相に代り

置の件

的さする永穏的研究機構設い日。中間諸懸案解决を目

も一切の搾収を排除すべしさ と、評濟プロテクは頻繁的に と、評論プロテクは頻繁的に では、になれる主張

晴れの華府入り

るが、余はそんなこさは絶らかっな説が傷へられてる

を要求するものなる事を中排斥を高調せず頻際的水平

岡本一己氏

黨籍を除名さる

では、 ・ を ・ を ・ には ・ を ・ には ・ に ・ には ・ に

か大統領には来鴻鵠見する の上。一應脳朝する心算だ の上。一應脳朝する心算だ

しきをならう

今回の大會が徒 6に白人

外に壁明するこさ 各國代表

熱心に討議

友會では十日協勝の結果途に飲友會の資本一己君に對し政を自然に於て自識員を攻撃した

會動策小委員會に上程す いふに意見一致し、一切を大

午後五時十分散會

を求め、又黨代額士にも配布 思大同國結の主旨目的を文書 果大同國結の主旨目的を文書

上異の新平價を目標さし之にも新法律に依る質上價格算定も新法律に依る質上價格算定

あるが、さりこて又新平價を基いて算出せるるべきもので 容易に暗示せしむる如きこさ

本問題は詳細判明するに從ひ

最近邊境地方に於ける英國の

野々の策動に疑惑の

機会をさつた

機構を除名するに終し之が手

政友大同團結派

近々聲明を發せん

下に除し重大なる支障を惹祀

位である

個者は二十五萬から三十萬

聖上陛下には御口越深き大御心より逼く慶びを同じく 御のより逼く慶びを同じく 御思召を以て紀元の佳節を 御思召を以て紀元の佳節を の思言を下し給は 日今回の恩赦に関したの如く の外はない

首相奉答文

動 語 ・ 本名國代表者並二話大臣 ・ 本名國代表者並二話大臣 ・ 本名國代表者並二話大臣 ・ 本名國代表者並二話大臣 ・ 本名國代表者並二話大臣 ・ 本名國代表者並二話大臣

「東京國典」 思教令に依る滅 刑者復職者の員数は司法者で 調査中だが、その推算は獄中 にあり減刑さなる者は二萬三 千名、朱執行さ段釋放者の滅 恩赦に浴する者 質なるものありさ信か 厚8に感銘すること一層切

臣に代り聖恩の厚きを謝し を興宴に召させるれ且つ優 を興宴に召させるれ且つ優 変に紀元の佳癖に書り群臣

室の悠久なる降昌並

質祚の無窮を祈り

勅語に對し 外交團代表白

氏は左の傾き奉答文を奉讀 ギー大使パツソム。ピエール(東京関連)外交關代表ベル

恩赦勅令內容

要點は左の如し 布され即日施行された

一、死刑の者に関しては無引っ、減刑は二月十一日前に刑

「東京國油島」皇太子殿下御覧 生につき長き辿りでは罪のる 民草に花族大無道の皇恩を垂 れるせ給よ有難き思召しから 日紀元の佳節に當り長くも恐赦の韶書を興祉せられ、之ご

官吏辨償免除令の諸動令が公免除令。辯護士懲戒免除令。 地力中昌懲戒免除台海呂懲戒

使等の確値するさころなり を同ふせらるべきこと 亦皮むより 陛下さその意 し本使等の元首に於ても る友誼の袋々密接なら 布望せらると

日本國ミ本使等が茲に代表 元榮こするさころなり。

恩赦に沿し より前の者に對して行 佐鄉屋無期

(東京國通) 恩赦令の恩典に 公した者の中には昨年十一月 六日死刑の判决を言渡された 沒山首相狙撃犯人佐郷屋留維 年五。一五事件の服役者等も 含まれ、殊に佐郷屋は今度の 自然により死刑より刑」等を

意を 陛下に致し且つ養皇 陛下紀元の佳節に言る外変 しては仕年の有期禁錮こす 一。無明懲役でし、無明禁錮に針 しては刑の執行の始まるない有明の懲役又は禁錮に動 ノー以上になつた者に動しじめ刑の執行が刑別の二分 い者に對しては刑朔の四分 重罪の者に励しては減刑不敬罪、殺人。強盗等特別 は残刑明の二分ノーを破 一を減じ、刑の執行をは

復備の者に就ては十一日 何れも感泣したさ

社會事業團体に

を賜はる 御下賜金

英國の支那邊境に對する策動 益す露骨化す

對英感情一變化か?

カシュガル獨立政権の設立を「上降十一日登録節」年職省 最近我會が観英同盟及び皇 強會さ合同接携の意思为り を体へられるが。右は誤り で、明倫會は創立以來他の 原因は軍民艦組問題につき 一、二の幹部が用題体幹部 で変見を交換せんさせるに

一ムロッ こして最近 地域に関する策動者しく路骨 化しつしあるが、雲解消信は 更に英語域の信頼網境集出を 報じる地内外人間に大センセ イションを持つ起してゐる。 即ち雲南通信に使れば、豫ね て同地力の豊富なる騒脈に垂 で同地力の豊富なる騒脈に垂 る意見の交換はや6D 中機は誤解一掃のためか 6

十二日午前八時三十分發哈高女坦氏(哈市電薬局々長)

退職金の 仕拂要求 *

▲平用少佐(間東軍司令部)同事總司令和參謀)同上事總司令和參謀)同上事總司令和參謀)同上

北鐵誠首從菜員にからこの際温暖金、積立あるからこの際温暖金、積立あるからこの際温暖金、積立あるからこの際温暖金、積立

いつた要請をした 首都新京の

開体代表其他一般市民参集、 との芸術に加ふるに、皇太子 設定御路覧の慶びで國和新京 は奉記氣分に確ちて持る。こ の日新京神社では午前九時半 より荒木地カ事を所長以下各 なの代表其他一般市民参集、 紀元節

某官廳

二名 至急入用

戦かな選拜式を行つた

日蝕觀測隊

小學校卒業程度の學力を要す 御希望の獨身者に限る手當面談の上相談す 高等年令三十歳以上四十五歳以下住込但し 方は老松町八番地トミタヤ迄

店 78

在哈爾領目拔ノ大通リ繁栄ノ傷所北瀬で、大道ス御希望ノ向ハ下記へ來談アリスを以上の一切を具品商、病氣歸國ニッキ商品及一切を具品商、病氣歸國ニッキ商品及一切の大道、大道、大道、大道、大道、大道、大道、大道、

新京三笠町 梅區旅館內 坂出

全亞細亞民族

同團結統 紀元の佳節をトし大連で 準備委員會開催 制なる

選行に協力することを刷す 選行に協力することを刷す 選行に協力することを刷する 選行に協力することを刷する の指名に決定して休會した で討議の上本準備督終了に祭に十二日午前十時から本管局 見たので各國代表提出議題共 中で 安南代表部は次の三様案を決 れ、栗谷代表を委員長に推し かの 一、 正細亞経濟ブロック結成 かい 一、 正細亞経濟ブロック結成 かい 一、 正細亞民族大會 大連関通) 正細亞民族大會 大連

聯盟事務局で

コムミユニ

ケ發表

してその目的を開明すること を申合せたが、右は今朝舎再 関関側床次顧問が行つた演説 間勢順床次顧問が行つた演説

なる影響を與へる試れありあるば直接間接各カ面に急激

すらが如き飛行機その他の軍 需品の性能も想像するに離く ない

暫らく働らきかけぬ事に決定

があるので、政府は富盛勝會於ては密輸入を誘致する危險

して意大説されて**ある**

情は一大要化を齎するのさ 見ばる支那

は十一日午前十時

大會を明年 大連で開催

各國代表提案

十二日本會

別に第一国大會を大連に開管管協議の結果、明年適當の時時半よりヤマトホテルルに開時半よりヤマトホテルルに開 局では次の娘会コムミユニケ委員會散會後午後五時中事務

代表が最も幾心に討鬪した の意見は全く一致した、各族解放運動に関する各代表 日の會議に於て亞細亜民 た。これは自主的亞細亞越族代表は小異を捨て大同に族代表は小異を捨て大同に

一、点成 一、亞細亞に跨プロックの **単細亜民族聯盟の結成** ねばならか 収への偉大なる黎明三云は トラクター ソ聯自慢の

某地に支部設置を決議

安南代表决議

何と使用一ケ年で九十七%実了で九十七%実了で九十七%実了を情報によれば昨年來ソ聯邦は文字通り國家總動員で農業の改善、多收穫餅串に基出するため極東に二千数百量の・ラッターを輸送し各地農場で使用中の第一ク年後の今日使用に抵入ざるも、全数の九十

かいれいかか

一ク年の國内産金見込額を最近の限度は一億国あるから さして政府の日銀借入金さ の骨子 すご云上のであるがい けしめ、その質上價量

州國呂代表。支那〇〇氏。印度 かんに、 日本吉田益之氏が

亞細亞民族大會準備會事務局では火會々長に前駐日福州國代表的觀燈氏を、瞬間に涌破十河理事を推薦する事に央議

紀元節に敬意を表す、十分間の緊急動闘により日本の建図

憩の後午前十一時半再開。

飽觀澄氏

大會會長承諾

き實響をなし、蘭洲國呂代の祝辭あり、終つて別項の

「大本國通」 正郷亜民族大會を決議したが、 右提案を本會を決議したが、 右提案を本會を決議したが、 右提案を本會を決議したが、 右提案を本會

事務所に終て開催され同四時間別委員會は十日午後準備會

亞細亞民族聯盟

水たメフセーのを披露して後

續いて各切より打電して

に於て十二日の本會籍に上程

支那代表部

(大連國題) 十一日兩委員會

議で討議

高一萬賞さ見て

に提案する副内産金保存法案(東京関通)政府が近く翻會

の平價切下

大学 である以上特来の領年假 下である以上 1年である以上 1年であるが従来の かないここ、政府で産金を國 かないここ、政府で産金を國 かないここ、政府で産金を國 かに保有せんごする目的 は 1年である以上 1年である以上 1年である以上 1年である以上 14年である以上 14年であるが、14年であるが、14年であるが、14年である以上 14年である以上 14年である以上 14年である以上 14年であるが、14年では、1

産金法案の重要點は 格の算定

基準を何れに置くがは 本準を何れに置くがは が質上け得るここもなる が質上け得るここもなる が質上は得るここもなる

くーク年間の買上整撮一値圏 一ク年の産金数量を一貫賞か ら逆算するご買上價格最高十 ら逆算するご買上價格最高十

通進する方針である、但し新

誤報だ

は左の傾き壁明をなした 明倫智を國民及皇衛會さの合 明倫智を國民及皇衛會さの合 聲明を發す

志願者一万を突破 待ちに待つた日蝕の當日十四日もあます所五日に迫り、到者以来既に二旬に垂んさする今日職想外の離工事になやまるれた眼側蓋のコングリート基礎工作も九分通り完成してローソッフ島の東京天女臺班、レボール島の京都班何れも大小さりごりの経済鏡の群が島 準備略々完成

百人の收容に

事数にも切れ、飛行學校の如 だき陸軍雷局は長んである。 を認識し非常時を数はんさす 単校も百名に一人さいふ微戦を認識し日本の國際危機 を突破。その他幼年學校士官 見よ軍國日本の豪華 質。三上(十五年)黒岩 (十 米海軍頻

に

を待つばかりさなつたが、南世歌名の一行は貴重な二分間

シスコ、ホノルル十日 砂図 明」 義に 今回は真珠灣、ミッドウエイ間

間の編除飛行に成功した米園間の編除飛行に成功した米園等では更にキノルル、モッドウエ4島(ホノルル西方約を行ふこことなり電場米護師を行ふこことなり電場米護師では中日がの加泉飛行を機ごして乗る・十三日午後電均を出発、モッドウエ4島に向け夜間飛行を行ふ筈である。これに先を行ふ答である。これに先を行ふ答である。これに 液像の距離は約1、11百哩 ウエイに到着するがモッド ウエイに到着するがモッド 十日正午員珠磯を出港する

▲上海日本向

である。強領の距離は約二、 世方側は二月に入って折惑しる (開閉に入り、天焼が少しも 定主もず折角の苦心も無情な 意のため紫外支障を楽すやりな事があつてはさ一行は天を 何いでその時間の快晴なるん こさを願ってるる 高級品 國産ゼラテン 高橋氏發明

(東京園通) 我園ではゼラテンの馬級品が製造されず、全 の門、宮真乾板界に革命的種 のたが。今回高橋信一氏は 外國品を凌ぐ高級ゼラテンを 外國品を凌ぐ高級ゼラテンを 外國品を凌ぐ高級ゼラテンを 來

未

◆多葵柱比(哈市特別馬警察廳4長)十一日午後[1]時二十五分來京哈市から同日午後十時與華天へ後十時與華天へ後十時與華天へ後十時與華天へ後十時與華天へ後十時與華天へ後十時與華天へ 錢豆先五 東鹽大

先七六 b 四三 富 月月月月月 限限狠限機限限

公立

三三十0

濟欄

海外經濟

六五三二 月月月月 限 县限限 月月月限 **神月豆粕**

歿者の眠れる范家屯の墓に詣長永沿中勝が田村、望月開戦

伏見宮博義王妃

女王を御

長永沿中將が田村、望月開戦。の三十一文字の歌は時の跡

る黒がねの、橋をぞ书やい

永沼挺進隊 いどしめやかに執行 慰靈祭

序で行はれ。

既京聯合婦人會代

DA.

3 4

らん」その昔打ちこほちたる思が 島特

新開合河鐡橋小脇に停車した京野を出發し、車中懐古談に 加者のたく香煙たれこめ、棒がし生花は微笑んで靈々慰む 記念碑館で讀經をなし、参 のが午前十一時二十分、直ち

一充分一であった。 軍人聯合分會代支、新京鐵道
「代表、明東軍代表、斯京在轉
「代表、明東軍代表、「斯京在轉
民、會長、范家屯驛長、」小學校

すべてが感感をのものしシー 存者の慰女 が氏子總代。歴戦者代表(佐藤

一戦友一を慰める生 曹が下一 午後三年記臨時列車で 屯地方事務所仕るしの祝杯書 にあたへられた俱樂部で范家 一歸京一

氏撮影特に本社へ寄贈せられて記念碑前にて…臼井東次へ富眞は昨日の慰霊祭夢列者

爆破に参加の 佐藤さんの喜び 常時を追想して語る

て新開合環構爆做に参加した進線に加つて苦巣をさるにし 耐望月上等兵さ▶6に永沼挺(中島特派員襲)彼の旧村大 詳さに語って最後に けふは非常に嬉しくてな6

新

つて詠じた

和歌

挺進降戰死

田范本屯 地方事務所 主事代 常時の中谷中隊長の祭詞(閩

めるが記念日

行二百名余りが乗つた臨時列者の三十周年慰鑁祭恭詣る一

は十一日午前十時四十分新

分娩。女王御護生遊ばされ ら十一日午前零時十五分御 ら十一日午前零時十五分御 に東京談通〕伏見宮博義王

分娩

三唱直ちに歸りの慰靈祭場行

で、天皇陛下、挺進嫁の萬歳終つて四戸聯合分會長の首明

間母子さる至極御出

一十分休憩後等時十分から慰 慰靈場の范家屯驛に到着した は約十分で午朝十一時五十 列車に乗った。南に走る汽車

競祭が始まり、まづ新京の兵

雷暐の懐古談を盛んにして に今日程盛大な祭 のが行 まはこの席上に現れて來て 三十年前の苦しみが漸くこ

新京の皆さま方のお陰で なほ范家屯地方事務所主 輝かしい紀元節をトして本社 あたファン待室 **裡に**い

の日本人がこの范家屯に 心年街その他の遠征軍 また心勝を明し

凄まじく大曽鼠分隣溢したが は婦人達で定刻まづ原平試合 選牛の意氣

にき熱心な翻衆は會場開花 中に講酬或協和會山口中央 これより先きけふの戦况如 かる寄せられた御好意味にかるた大會に富り、各方品がるた大會に富り、各方品 その他の御坂助および同界の先輩上野氏給め各面 新京地方事務所社會深。

びに堪へません、臨時列列車運轉が出來たときは

がこの際に停車したこさ

池家屯驛始つて以

來始めてのこさでせり

大和通りの

「復活第一年の本大會が新 れるき 中涂薬機の止むなきに至った た新泉祝園選手は競技争はに して母堂 逝去の悲 電に接し 手を迎へて奮戦これ に代って熊 を壓迫しつくあつたが、同の奪酬康じく終始地元新京 から満鮮弟一を誇ら吉林文選

扇子一帶の密林へ幾早く潜伏 ・態度を約變、八日夜東北方 ・態度を約變、八日夜東北方 ・の管線除るその中にあるの ・ので、快速これを奪取すべく日 を見じたる太平胆五白は双 で、快速これを奪取すべく日 を見じたる太平胆五白は双 で、快速これを奪取すべく日 に過ぎしたる太平胆五白は双 で、快速これを奪取すべく日 かかの、最初は大いに見るが 及はず乗えある優勝盃は遠に の手に占めるおるこ

本社かるた大會終る

さ開會の挨拶を述べ次で熊代 教事からルールその他の設明 があり、直もに豫選に入つた が確選は前後三回に亘つて引 る、一旦休憩のうへ

びであり、本大會復活に對 に至つたこさは此上ない喜

程に芽出度く閉管を告ぐ

して與へ6れた新京日日

新

一夕食一 をいまし午 3謝辭を述べ 節京地方事務所

き本大曹を終つた ・一時過ぎ大盛况理に意義深 野村社會主事の發聲で全端か

器押收

に

から仕方がないし

店名當選廣告

六五 等等 四等 三等 二等 七等 等 祝安中足野熊女園 藤江立中代 同 同 同

午後一時二十五分韻火した。海如方から出火同家半億して

原因は煙突の不完全か6

質に欣快に堪へない、

歸順申込中の

太平匪寢返りをうち

中島指導官等拉致るる

明十五 毎地の三秀仙堂ここ陳

トーに精進する由である 七年の經歷を有する吉岡直愛 氏は今回新京中央通り二十七 新 に舎岡嶌眞脇を開いた氏 は親切さ、丁寧、迅速をモッ

| 大和通十一番地先回で支那を氏は十二日午前十段ごろ

吉岡寫眞場開店 BH.

▲ 國際郵連股局大井良氏は十日 年後十時ごろ歌町一丁目で 容馬車から下車の際会文書 類を資き忘れた 九日年後大時ごろ軍刀一振

を落した

60

落しもの 本を容馬車上に置忘れた
○ 本を容馬車上に置忘れた
○ 本を容馬車上に置き忘れた

盗 難 届

舊正月も一日も休みません。

御用は是非一

配達致します

潰木石調 の 花 發 質

| 三京

氏は十8年後八禄饗宴観か

6自宅に歸つた際仕込杖一

撫順炭の

せ

■城内三道街客馬車央潘春に 氏は十一日午後八時十五分 ごろ長春座前で石鹸三個を 計つた

▲日本橋通六十番地泰山分では十一日午後五時三十分で 大田本橋通八十二番地金子正 氏は十一日午前十一時ごっ 氏は十一日午前十一時ごっ 氏は十一日午前十一時ごっ たは十一日午前十一時ごっ たは十一日午前十一時ごっ たは十一日午前十一時ごっ たは十一日午前十一時ごっ たは十一日午前十一時ごっ たは十一日午前十一時ごっ たは十一日午前十一時ごっ たは十一日午前十一時ごっ

(新京) 同 间· (吉林)

部落民一齊反對 鎭壓に軍警急行 張家灣部落の出來ごさ

一日に追戦し威嚇發砲をなり、長端から軍隊が急援に向った。 岩球官の一行が大典を控入銃、機の氣去もず急報に接した第 器押取のため提家灣邪落に到、城子遊動縁から朝日山餐佐指 器押取のため提家灣邪落に到、城子遊動縁から朝日山餐佐指 の下に一個小隊並に餐寮隊 が6一個小隊を引率し自動車 で現場に急行した、同時に公

★賞金 拾圓也 佳作 送り致します 進

作の方々には僅少ながらすし。當り失、鳴戸、すし徳、笹舟、奴『討入』すべりこみ、滿洲一、うきな、 | 秋町五丁昌三 | 影 | 様 | 安 安 Ħ し券を御 すし崩り

路譜で印してろたさいふそのが彼等二男士の遺骸のそばの の挨拶あつて午後零時五十 しく見て晝食休憩場 れ。終つて日霞者。新泉青年訓練所代 の記念碑の 多能者はこ 地元新京軍の一 副经路.

石田大人

高高侵难

るつまい

〇〇〇隊出火

佐前邊齊野井藤

婦人組

奮戰目覺まり 優勝盃惜しや吉林文 (選手へ 六五等等

上稿

宫本

よつて本大會がかくも盛况 出て來るので、出て來るので、

かなあ断然俺は優勝するぜ」 「われを一人賞品に見れない選手一同喜ぶまいこさか

てるた食田駅原署司法主任、 ・ はきな道さで耐まんなしなり ・ ないなりごあわてたなり」 奇 ・ ないなりごあわてたなり」 奇 ・ ないなりごあわてたなり」 奇 ・ ないなりごあわてたなり」 奇 円地時代からかるたで鳴らし ۵

キャピタルのダンサー三人が 自に加つたが、善製器に及ば 自に加つたが、善製器に及ば を恐村驥に名を成さしめた。 上野氏歸り途に曰く、「この 次の會には十日ばかり前から ホールを休んで練習し優勝す るんだな。今日は練習不足だ

かるた會開會前 **6**66666 割 美酒住看 A D

平 加 井 櫞

十一日中前三時二十分ごろ南諸駐屯線から出火した、急程に接した備州政消防線並に新に消防線並に軍廠が出動し消水に努めたが水小足できるすべるなく忽ちにして練瓦平五百五十坪を全焼し同五時鎖火した、損害二萬一千圓、原因 であるが同願舎は昨年八月新は日下城内惣兵分縁で取謁中 栄されたものである

上手でも爆業はごっだらっか 「あの負けず嫌ひなさころを 見るご學業も人には負せては のないだらう」

出來ない旨を告げるさ「いく

市内富士町四丁目満洲國資業制の職人が訪れ夫が不在中妻を民に對し「自分等は司法を発行さして働いてゐるが今年が破れて困つてゐるから五十調を出して長れ」さ強要したが章氏は今主人が不在中妻としたが章氏は今主人が不在

偽刑事現る

昌榮(一九)君は十日赤綱を別した 関心値に満醴病院に隔離した 関校では10日 寄宿舎内にタフラリヤが養生以來五名の患者が輸出し學校並に寄宿舎は大ができたが十二日午前十 一時から更に生徒のダエキを

輪人組合の最品はその後、温

輸入組合の **引換のこと**

本を深き湘南の角漫に清く6 脚うつ浪漫派の悲劇1 下加茂特作雑誌キング連載 子母巻覧 電が続手た

新京商業學校牛徒通學牛角田

商業通學生

十二、三日二山間限りま存率奉仕週間科金五十銭公件キ手・莆田留特作映勘を圧力外平之助単生の魅惑篇を廃心中

区大台 Ì

齊々哈爾平前七時發海拉爾 年前十時書前州里午前十一 時十五ヶ智備州里午前十一 時二十分養齊々哈爾午後三5時 二十分養齊々哈爾午後三5時 に述ぐ等である

第支頭線の途にある参謀を 各方前の調査を行ってるたが 十二日午前十一時半旅客機で カルビンに向ひ、同地に一泊 の地では九日入京

日出中佐 ハルビン

大五四四 等等等

持高水奥生深水井野尾田深

(新 京 京 京 京)

場に姿を見せ、鉢巻姿も勇し森田司長も好きさ見えて試合森田司長も好きさ見えて試合

ある

4

4

w

滿洲里

航空變更

十一日午後八年でる城内新立

三人組强盜

た、目下回署で犯人捜査中でおり章氏から國際三圓九十の追を取り逃走した。不審を抱めた事女は直に新京署に屆出

俸

組

りますがく 場つたがさすがく 場つたがさすがく

城内に

金中

佐野夫人

(新京)

(四平街)

眺めてゐた

組

はき青い袴はいてゐたが、まな子根で優勝した電々會社の

捕するにいたらなかつた 警察廳では底に至市に非常線 警察廳では底に至市に非常線

最着時刻を次の通り受更した 開補州里間定期航空回数及び

運航河數每週水曜及了金曜

の二回で一往復

るで女學生の感じ、 人の一人が日く、

試中見物

急に引き換へられたいさ

が多し、東方十五日を以つて みるか。 未だ取りに來ぬもの

所であった。

髪を懸けました。御発なすつて下に

談 報上 化演 器田

三平は、小石川水道艦の大川都 泉元職べ (四) (百七十二) 長 直ぐ勝宝の経から、小殿での 呼ばれてハッとしたが、お離は

●三碧の人 冷霧に蔽はれし

機の如く危険多からん

内さ度が音

あるべし開店普請練宅亦吉

諸事徴んで大功

丁で辛を壬か吉

尚勢にい東すべからず

りました。概土の灰汁を無見に動す。銀方の言所でお泉水を見に動

つた。

驚きながらも数つてはゐられなか

「可しく」語れ」 上げにやならんから……」 だが奥庭へ入るなら、一寸上へ申 「オ」さらか、御苦勞ちゃの・ 門番は以前來た時、見知り顕だ 所へ……」 **育が安は消えて、** 「ハイ……離殿」 「たや総の際子を開けた。それは 家へお庭仕事に來ましたのです 了(人) 「誰かと思ったら、お八重さんの 質は親方の言附で。御當

○六白り人 年度を分けて人

ご事を共にすべく功績難る

る事多し融和を謀るべき日

内粉に心々痛む

● 五黄の人 幸運は更に一層

人に交らざれば隔絶を生す

の努力に依めて吉さなる日

のがは、見向きもせずに、騒撃のとはぬ離りに、メン(一庭へ廻って れぬ離りに、メン(一庭へ廻って れ 願ひして、お手間は取らせませんで、私ア丁度好かつた。コリヤお 「今ね、貴女のお姿をちよいと見ねえ」

『アトさら(植木屋さんでした ●九紫の人 丁さ辛さ成が書 一刻を箏ひ 水関するが岩

易し希望計画あるも誰むな **一大阪商船**出版 諸事沈滯を生じ

H t

の手當と豫防

ですから登襲店に備へてあります。 に助かりました。(以上難選及養所教院はで験を止めて、安らかな呼吸を少しでも、出そうになる咳を抑へても、からは寒二期の徹候、即も咳込みの一般に養いてほんとに弱りました、咳が出ればなりません。この 腹に養いてほんとに弱りました。咳が出ればなりません。この 腹に養いてほんとに弱りました。 は良くなったと 慰って 安心しますが、この 膝 昆も 社 意した かありました。 は良くなったと 慰って 安心しますが、この 膝 昆も 社 意した が 形を 家 恋で 行ふには 龍 解 数があります。 これを龍角散でことろよく止めほん これを配った。 これを配り取りました。 (以上難なるので、素・のは、素・ですから登撃店に備へてあります。 に助かりました。(以上難なるので、素・ので、素・のですが、この 膝 昆・も 社 意した。

乳児の

死亡率は最高

意り

これはこさん

健康法ではな

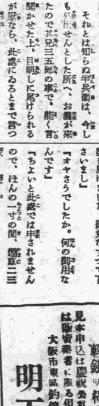
飲むだけでい

新京川设所電話四〇八九番 帝制體一徽章

に助かりました。(以下難認反響所載) で、以子で、はんとに弱りました。 で、出そうになる咳を抑へてもおりました。 で、出そうになる咳を抑へてもおりました。 で、したがありまして、咳が出て

た門は、金井中兵衛の住むと思ふ、で今金井の旦那の、お立田を奉ひみに来た、横蛇の弟子長吉の覗い、て頂きたいと思ひましてね。それみに来た、横蛇の弟子長吉の覗い、て頂きたいと思ひましてね。それ

大阪市東岛的鐵町一丁目 北東資業者に張る但要拾鍋 大阪市東岛的鐵町一丁目



然らばされより輸出三河町の飛 下の思意ない者といふ事は、 献となく 三年に戦して お恋も否めなかった。それに三 別分があった。

盟四十八百九千三

の緑へ舞つて立聞きした。

草院の足

音を忍んだ三平は、雕

刺那であった。

駅なら、此處にゐるとまで言つ

三平は其縁を見ぶつて。 脚語へ、使りの存無を聞きに終るとがあり言うて、出て行ぐ容子に、と を離室に残し、自分は邸を出て行中兵衛は順事か命じて、お職一人 腰元が姿器を運んで來たのに、 一二人は門番の前へ会響した。 八 ツイ履物を経験けて、三平と共

▽全國各藥店に

あ

h Δ

職 藤井得二郎商店 ※★東京九二等

巾神田區豐島町





盛立てる

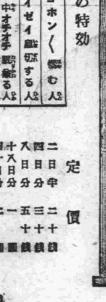
リグン)

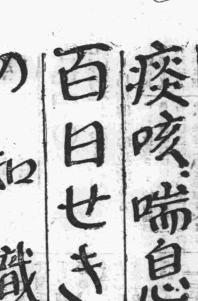
分が

血と

大四十大四二 十十八月日日 百日日日日日 分分分分中 EE-EE +++ 面面面线线线

龍角散の特効





度お越しを願ひま

亭燒門門

新京にも

悪性性 0 喘息」とレントゲン

及び家庭薬物療法

外皮科膚

性泌病科科

同

先月十九日には咳で苦しんだ。丁度それが、龍角散で咳を解め得てやつとマイクロフォンの前を無事に潰ますことが田來たのは幸ひであつた。此の薬がもつとも簡単に鎮咳の效果をあらはしてくれたことを資證します。云本……

配達は飛行式 食料品 日華洋行 電話三二八二五番

木唇清白

診療(全年後五時)日曜祭日午前中

の話二六〇六日



田 語商 。店 配。 廣告の御用は わがヘブリン丸こそ、 多天堂珠式會社 まことのかぜ楽デス 電話三三〇〇番~



るた執政府正門は十一日に 一日御即位式の間に合せる べく査表を一工事を急いで

執政府正門完成

り政府提出の法案其他の

菱刈大將の意義深き通過初め

治博士が新商相さして献任す 地で中島路相の解職、松本素 地つた足利拿氏論が悪化し、 地のた足利ない。 ・ となったと、

を持します。一層言重的應 の無一之が欄所に於て根本的 修正を受けるが如き場合には 成は政府宏を修正するか又は を派の協同提案により選果法

これを以て諒解し、十三日の 表講院本會瞬には豫算案を上 程し、豫定通り原案可決の見 程し、豫定通り原案可決の見 それでは之を以て大難闘を突 おいては之を以て大難闘を突 おいては之を以て大難闘を突 一今回 横方側を明 横方側を明

「東京國書」政府は米穀製領に於て 十三日の衆議院本會議に上

だにしなかつた尊氏問題から

| 一地 | 物力を放て | ン、チチハルの四鐵路局が統代を | なたの如く奉天、吉林、ハルビス酸的變化等を | なたの如く奉天、吉林、ハルビス酸の變化等を | なの内容は本月末に健康され

會期三分の一を經過

が。これが試験飛行には多大性は職飛行を行ふこさしなった。 これが試験飛行に没頭して居た

重さ僅かに二十七賞のロボット豆飛行機である

整備局長林柱中将又教育機監部本部長衛祖に造山中解、護東軍参謀長小磯國昭中将、陸軍次官御川平助中解、第八旦、三、一、六、の師園長候神に造中解、額東軍参謀長小磯國昭中の一中解、陸軍次官御川平助中解、第八世界、 100年の 100年の

奉祝燈は成るべく和早く御下命願ひます率祝燈は成るべく和早く御下命願ひます事一條通東一條通

貝院豫算總會賑はん 一、書林磯路島 京副会 神線、吉海線、吉海線、吉海線、 二]。哈爾賓臘路島 京圖全線 麥借欵を 奉山泉。編 赤化司法官被告

五名字(東京 図当)赤化司法官中執行務餘の書記号は服罪したが西臨は即座に控訴を申出で尾崎、瀧内、為成は強別に反し橋、瀧内、為成は強別に反したがでれる控訴を申出でた、電田のみば服罪かさみられてかたがこれも控訴した 午後二時教政府で行はれた沈瑞麟氏府中令親任式は八日 一。隨度局官翻

水素泉、齊北線 四、齊々哈爾臘路局 四洗線 智北線主他 前十時から國務院會議第に於 國務院會議 間は十二日午

長宛

之自然の地形は山岳に国線セ 漁洲 8境一帶の勝阪の地に有

6し、經費的には資源を開發には治安維持文化の向上を漏の完備を明するに政治的で通の完備を明するに政治的

相成機御高配を賜り

江南岸を北礁。洋口沈を陥れ 頭に十日延平扇方の要所青州 舗を占領。十日代延平郊のに 現はれ延平城砲撃を開始し目 下中央軍は激五十二。第八十五。翌 八十六の三ケ師四萬で、第八 十八師も古田より教援中であ

國境僅かに一條の鴨緑

段奉慶智候

息よ御清祥に被兵渉候

戦し居る狀態に有之候

請願の件

豊富なる天然資源も徒らに死 に行はれるのしを以て殆ご腫 に行はれるのしを以て殆ご腫

を要するものさ思考せられた。 での状態に重大なる関係を有 での状態に重大なる関係を有 での状態に重大なる関係を有 での状態に重大なる関係を有 がの状態に重大なる関係を有 がのが、就面當該地方の治安並經 を表表する。

ニ、國務院各部(實業)官制修 三、議洲石油會社法 沈府中令親任式 四分の三を金、四分の一を銀さする旨を布告する権限を現へる。現在米波に有る貨幣用銀を現へる「現在米波に有る貨幣用銀を現へる」で、スケールの比率に被つて再評價

さして銀塊の形に於て之をを全部収容するこ共に現在を全部収容するこ共に現在を全部収容するこ共に現在

右の銀復位案に對しオクラ本

トーマス氏は左の如き獨自のマ州選出上院翻員エルマー、

三月一日の

度位案を主張してゐる

し約四割一分方の平價切下

洲國の帝政實施につき祝念を一に一任を決定した。 との一位を開発を受ける日本のでは、一種に可決、方法其他は事務局では、一位のでは、方法其他は事務局が開発を受ける。 との一位を緊急動語さして、大連網通り 原細型氏族大會 しょうの作を緊急動語さして

民各位

新京滿鐵地方事務所

商

亞細亞民族大會準備委員會で

満洲國に帝政實施の 祝意を表明す

の弦に深甚なる祝意を表す一の弦に深甚なる祝意を表する所な 虚細亞大會準備會は爾洲に

赤津さん赴任

打電した

爾獎 慶祝費寄附金募集廣告

H の三日間

九溪に據る共産軍約四千は関 (福州十一日最國通)沙縣。

來多十四日、十五日、土

舊曆正月に付臨時休業仕候

多级模範海池

東邊道縱貫鐵道

江を以て唯一の交通路させ6

る不便にして他地力さの接 関繁な6す從て文化の向上

民稲を増進し地方住氏は真に

福建の共産軍

敷設を請願

選擧改正に 全力を傾倒政府鞭撻

科會を開身各職の態度を決定(東京認通)と日の職會は貴族院は休會し衆議院では本會

今請會を乘切る方針である

黨内大同團結運動は放任 政友會今後の方針

満鐵改組を

特務部問題

を逸脱して政権獲得の知さる 義の立場より之を支援を逸脱して政権獲得の知さる 直接に強想されてるを表明となるのに向はんさするがいき場合 直接に強想されてるるのに向はんさするがいき場合 しましても今は尚是々な 動が従来表明せられたる目的 であるが、同派の選 がせんこするものである以上 であるが、同派の選 近の陸州頭相の更迭により署 一戦弱一を感ぜしむ

さして今議會に於て使現を明か。 政友會では其最重要政策

態度一されてある

輸會が帰れまるが、流域改組 問題に繰し各派有志の動實協 新相、林陸和門 廣川外相等に 東京記氏等が豫算場官で永井 塚英蔵氏等が豫算場官で永井 塚本蔵氏等が豫算場官で永井

現金借欵に變更か

米國之に總ずるかは疑問

棉花賣行ないため

行はれた場合には金銀比信

人材主義で部内の刷新を圖る十日前後競令されるが、林陸十日前後競令されるが、林陸

作移に関係ありさし注目され 管であるがおは今後の政局の

工兵學校付少將

第一師國司令邸附少將 末松 茂治

士官學校幹事少將

大塚堅乙助

工具學校長少將 佐村金雄

3

3/

新京三笠町

梅屋旅館內

坂

ニモ適ス御希望ノ向ハ下記へ來談アリ

任大將

を一對二十二きする

場合。金銀比價を一劃二十

陸軍異動は

人材主義で部内を刷新

居拔ノマ、格安ニ譲リタシ他ノ何商賣文具品商、病氣歸國ニツキ商品及一切獨專的非常ニ有利ノ營業ニ併セテ高級在哈爾賓目拔ノ大通リ繁榮ノ塲所北滿

朝鮮軍司令官中將

義之

管行無くこの儘引機き入貨す 女借款による輸入棉花は殆ぎ 某所警覧爾京某有力者に栄于

15 大統領に對し正貨準備の - 4 移動一任さなつた左の緊急を骨子は左の如きものである - 年族大會準備會本會歸に於て - 5 大連樹地 - 本十二日亜細亜目下具体的成案を練りつるあ | 鄭總理 に 打電

電波で飛行機操縦

隠れたる發明家の手で完成

師園長西簔一中将。臺灣軍司又東京警備司令官候補に第八

祝

任中將 (名通)

字佐美興畠

祝滿州國皇帝即位紀念

近く試験飛行を行ふ

政戦の舞臺は貴院へ

議會後の政變を見越し策動

ントン特能に依るさ、米回のユニーヨークタイムス紙で 銀復位案骨子

第六十五騎會は漸く會期の三 て粉糾を見るべく強想された で、「東京國語」 屋村間朝によつ

一定住業人 簡切の論戦 に移る譯が

ての助きや咳嗽嗽裂問題等ので見られ 府は銀の復位を断行し、正

たが、政府が政友會の強硬態
一大が、政府が政友會の強硬態
一十二日の本の哲で決時は十二日午
なつたので栄時院は十二日午
なつたので栄時院は十二日午
なったので栄時院は十二日午
の院に健附するこことなり政戦
の院に健附するこことなり政戦
のた、貴院本会議及び強算機会
、た、貴院本会議及び強算機会

記録的收穫に及し進んで曰く

概さの観弾はさうが に入つてランボを緩和し(二) 展に胚胎する蘇聯新軍部の整 (一)五ヶ年計畫は第二次計畫

「蘇婦の國土はその途上に

内經濟はめつきり良くなつて

ソ聯計畫經濟建設期に入る その對日外交變調さの關聯

が、昨年の秋に入って愈よそ 大を唯一の命。綱さして只が 大を唯一の命。綱さして只が なシャラな行連を鎖けて來た が、昨年の秋に入つて愈よ 第一次五ヶ年計画の最後的第十七回共産風大會を開催 がりてるる、劈頭開會の駐 氏はたの如く力説した 氏はたの如く力説した 大道を着々辿つてるるのだ。 働者農民大家の繁榮増進の するだらうか?

其の完成年度一九三七年度 に至るまでの成果が極東に及 はす影響はごうか、特に蘇聯 が放送する對日疑心の宣傳は が放送する對日疑心の宣傳は

立つ様になり、案ぜられた優から接い親変の手を指しのべいの接いのではに豊富な物資の大型を加入た場に豊富な物資の大型を対した場合を加入た場に豊富な物資の大型を始める。(四)従つて人心も安定しから接い親変のが優から紛糾した。英米を始め知蘇聯の貿別の手段により、英米を始め知蘇聯の貿別の手段により、英米を始め知蘇聯の貿別の手を指して、英米を始め知蘇聯の貿別の手を指して、英米を始め知蘇聯の貿別を持ている。 各國さ不侵以係約を締結するおに至り、蘇聯外受は川東征のべから接出親交の手を指しのべ

十二日の氣温最高等下九分散 氣

べき無温 けられてるる

は粉謀本部附梅律美治郎少將縣、支那駐屯軍司令官候補に

新京朝日通六九

科 H

歩兵學校長香月清司中將、多本部長候補には陸軍大學校

販賣、其他電氣工事一般 毒器貸付、電氣器具材料 蓄電池並ニ充電、電話、消 電 鈴 ラヂオ 話鈴灯機 電交

大通電氣工業館會社 電話二二三五番

口電話の御用一切は

(日滿外交員數名入用)

(3)

大典豫行演習參觀は

るので、二十七日午前百時半8二十日には、新京に到着する二十日には、新京に到着す るが、順天廣場の郊祭式場も たきを期して準備を進めてあ が、見てに亘つて萬潰洩 の大典は、満洲國最初の盛儀をる三月一日奉行される膜古 田田、 南海進行の沿道警備、 強りを輝て順天廣場に出るわり 単を行ひ、式典當日宛然に演 出来ないので、この虚儀を 出来ないので、この虚儀を 出来ないので、この虚儀を 出来ないので、この虚儀を 出来ないので、この虚儀を 出来ないので、この虚儀を 出来ないので、この虚儀を お召自動車を使用し、点紅の の大同大街で多觀するのが最 お召自動車を使用し、点紅の の大同大街で多觀するのが最 事体は燦然さ光る繭花の御紋 も便利であらう

あり、永久に

九さなつて市中の流動整備は「深く感謝の念を抱いてゐるが」中である「鬼場」というでは、首都 警察線 内の御 満洲國内の治安確立に抵因し「米ら十七日頃將士駐間の目的では、首都 警察線 内の御 満洲國内の治安確立に抵因し「米ら十七日頃將士駐間の目的とになつてゐる、今回の鎌行 白系露人が 『將士慰問の會』開催を計畫

6式典の2日演習を行ふこ

盛儀を機に

逆産處理法を中止

なったが、そりりをよったのである。

目的の大半を達し

設計學研究所

市内富士町四丁目十番地晶田市内富士町四丁目十番地晶田市内富士町四丁目十番地晶田県事務員が競見し動京消防局に急報消火に努めたので大事にいたらず床一坪を続失しまったので大いたらず床一坪を続失しまりの過熱に剣明した

九千二百六十六圓七十三錢拂一九千二百六十六圓七十二三錢拂一九千九、金額十九萬 郵便局の預金

取職ペ中である 取職ペーである 職をなすさ共に、同或の政治 強州威が世界學術界に一大般 究所は智算三百萬間

ペーチカの

田村中尉等月上等兵の忠魂碑十一日范家屯を離る約一哩の十一日范家屯を離る約一哩の戦の中に建てられた。

永沼挺進 投書動

讀者から 何に想莊なる戦死を遂け

隊の

南領中等教育研究會に併席の

白二十八口、金額で十五萬一百二十三圓五十七銭でこれを再變前である昭和六年一月の「食のに比べるさ口敷で三千大 年六百二十二_{岡二十二銭の融}

股十四日滿鐵中等學校長會 府十七日館京の予定

満洲攪亂を企圖せる

吉林天主教外人逮捕さる

陰謀の全貌暴露せん

畑〇團麾下の 寺尾支隊

が移覺し、俄然書島の活動さ 弱り果て顔色蒼白見るも哀れ 開催される端域中等學校會講宗教順体が割策してゐた事實 氏は排はれの生活に身心共に 十四日から十六日まで大連で優凱大陰謀を音林に於ける某 の無事生還さ涙して迎へたが 二一校長 大連へを前に十日はから中も満洲國 女人等多數出迎へ、何れもそ 二一校長 大連へ 一二校長 大連へ 女史ッ十日午後三時大和本燕 順氏は 既報の如く安 恵新興福州國の資業部總長張 院心中の畑〇嶼地下の寺尾支 江沿岸江省内の残留胆討伐に 対け、原顔〇鷹さ聯合し松花 六百の匪を残滅 兆興鎭西南方で 八人或師」方林省開賊

を木然に防じべし大変であつ 高時に大消毒を行つて直染病 を木然に防じべし大変であっ 商業校で

明して頑強に抵抗したが、安敏能は堅固なる土手家屋を利

日

政権に依り又は之を背景さし ・ の常初人心の動揺に處するため「逆産處理法」及「逆産處 ・ 理委員會官制」を制定して舊 ・ 理委員會官制」を制定して舊

ので近く行はせられる大典を明さしてこれを打ちきり逆 を明さしてこれを打ちきり逆 を開きしてこれを打ちきり逆 を開きしてこれが委員會を

別不定李樹亭(三) き判明した 地様取調べるご奉天省生れ住 地様取調べるご奉天省生れ住

抗日陰謀計畫で、首謀者數名吉林天主數外人宣數師の反瀾

は既に逮捕され、近くその全

さして暗中飛躍を付けてゐたて裏前に於て某間の課程機関

慰以前より表面布数を名さしなったが、その内容は前洲事

張實業部總長の

めでた

便局百貨店でスリ八件を働犯人は昨年八月ごの來席し **てゐるを自白した余罪多數に**

百一十日

山內氏無事歸哈

人質生活

と不常な私利を闘つた者等を

電々會社大馬力で

通信施設擴充

大典前後のサービス

して十三日からマスクを使用して十三日からマスクを使用され、なほ傅染病予訪領さ 新京細菌險

家屯、十二日大屯、十五日孟 沿線慰安映畵會

満會を備す。 係員三名は十六 家屯の日程で在住邦人慰安映

をも残さず之を殲滅した Lの戦闘に於て松本O験笠部

隊の倉科恭軍曹は勇敢に奮戦 二件フ停電ノ為左配二依り断水

昭和九年二月十日 市街全般 日時 四時まで 二月十五日午後一時から同

軽傷 十四名 井出祭雄 もり映寫機を無帶出發した はこの程いよく「釈京に進出 大隆洋行進出

人月を引いて居る ンプービジャマ、婦人裝身

220

新久十年 帝國語會は横洲問題 第六十年 帝國語會は横洲問題

進捗を物語る

スリル逮捕 スリル 連指 野京野便局を刻め断京百貨店 その他市内の盛場で順々さしてスリ被害が断京署に届けられるので同署で個力犯人捜査 中のさころ十一日午役九時で

午前二時又もや二回鳴動爆殺 淺間山荒れる

正)午後零時から訪月町家事自菊倉主催。来る十四日(舊

日菊會主催

社送軍 斷水御通知

た。資傷者はかの明りであ 新京地方事務所

茂林廟で行はれた一

成吉思汗祭

事變後初めて行はれる

商業學校

五年生の

る空氣に時なるの音波を

孔側で刺い臨時移轉、執政府

計假設二十二個、移轉三個

憾を含華代を論すべく十日大湖の曠古の御大典に際も馬道、職を會社では來る三月一日滿 州の隣古の御大典にい

> に磔峨附屬地返還の可否は一 無い突込んだ質問をなし、殊

「ハルビン國通」昨年十月末 電地商品陳列館の山内忠三郎 会規轄江、松花代の合流地點 電地商品陳列館の山内忠三郎 まは四ヶ月の人質生活より逃 で下野駅のため拉致された で下野場の地の山内忠三郎

務課長、中谷首昭駐在員を選本社から西田選事、建部

の外無電一回線を併用する外無電一回線を併用するの外無電一回線を開一回線・

返還の場合に於ける礀洲國の

に假受信所を設け間断なく本右の他数台の自動車を用ひこ

小華校令の大綱が決定したさ

郵便局。百貨店の

(無選後)東西史書の 灸する 英雄は蒙古成音思汗に指を屈 する事等しく首背する處であ あう今窓蒙古は愛娘の餘喘を を愛えて居る憶へば成音思汗 を愛えて居る憶へば成音思汗 を変えて居る憶へば成音思汗 を変えて居る憶へば成音思汗 を表れでも暴古人は大和民族 と一派相通字るの感を深くし

度製品蔵物。各ドレス生地。 内の改造もなつて去る力日よ ホテル向に店舗を構へ漸く店

パラチフス 一名發生

た大會を催する

講習所で家事講習生慰安かる

い光景を呈した

匿正月も一日も休みません

御用は是非…!!

配達致します

大山木廠主

撫順炭の

知

5

せ

基タフエー雁人曲誌町(二大) 閻汝林(四二)及び♥四條通り 同日午後二時彌酸醫院に入院 十二日 パラテブスミ 决定。 檢査所で保菌檢査をした結果 の阿人は八日健康 アスの疑ひがあったが細菌 診断でパラ ▲曜町三丁目四番地ノニ 鍋 田裏氏長男総さん大日出生 田裏氏長男総さん大日出生 和泉町二丁目一番地 多利司

信氏長女玻璃子さん||1

マスク使用 田與八氏長女ナオさん十一本安町一丁目十一番地山

▲平安町一丁日三番地 岡崎 鶴次氏長男暢さん五日出生露月町二丁目卅八號 田中

次郎氏十一日午後二時二

居住消息

☆古川彌三氏(佐賀縣)大連

から花園町二丁目八番地二 ▲永川鼎二氏〈大阪府〉永樂四

6入船町四丁目十番地へ ▲松本寅市氏(愛媛縣)朝日棚 ▲元告信氏(千葉縣)富士町二 惣次郎氏。兵庫縣)蓬米

▲山田貞治氏(鳥取縣)朝日 ▲網戶武夫氏(京都府) 豹衣町 ▲山口中定氏(兵庫縣)朔日圃 B通り十九番地へ 長氏(鹿見島縣)懐徳

して奉仕致す考へで

した新切叮嚀をモフ ーさし皆様の店さ

▲岡清氏(栃木縣) 人船町三 物織品產製度印

開店紀念大賣出し

●好機逸せず御買求めを

原に参りまして此度 目品業營 即 各ドレス生地

大津よりは、はらい

印度製ド

婦人裝身具

チンハル

支本店店

ハアビ

ら人船町三丁目七

▲永淵忠夫氏、西二條通り敷

番地から祝町二丁目四番地脚に降雄氏。大和通四十八

から祝町【丁目十二番地ノ脚助直音氏、羽衣町二丁目

十一番地から別日週の四十七番地へ

春の訪れ!!

就四十八百九千三第

(B

曜

食料品、

丸

平洋行

百和貨金

電話洋

新京日本橋通

スマートな

大

△道明寺

の葉

大根の味噌漬 株 茸 辛子 漬

角目丁一町野吉

美美 爪 顔

術術髮

フリ

ジ

ヤ美容室

中央領大阪屋駅向行

Tet.

日

(可認物更事建三音)

煖

房

I

道

事。

衛

生

I

設計施行料

v.0

商會

御一報次第店員參上可仕候●

工電場話

新京區七川六丁目

業

水醫院

曙町二丁目卅十

(京二條爾受帝四)

內科。

外科。

花柳病科

産婦人科、耳鼻咽喉科

年九和昭

おら、お客の方へと進みよってした。

毎年の事ながら、此の頃は底び、
このする日が、毎日つづきますので、
完込みから腹痛、下痢を起したり、
一旦よくなつてゐた胃腸カタルが寒腫るります。
これが寒山あります。
これが寒山あります。
これでは、
のが寒山あります。
これでは、
のが寒山あります。
これでは、
ので、
これが寒山あります。
これが寒山から、此の頃は底び

先ず間からもみ始めた。

「之は、大府、襲つてをりまず

按照らしいこわ色をつかつてこ

たい、死んだ方が増しである。死 かれた身體を持つて 配ることは出来れた身體を持つて 配ることは出来

正しく臨州吉兵衛の思ひ春のお

そのかほを見るとおはるはどき

定であることは一目で知れた。

「お呼び下されまして有がたう

こつて居てて、起上る紀力はなか

服装の盲目の女あんぱをつれて来れた。

関質収安は昨日からの氣づかれ

女中は去つていつたが、家の者

ひたいので御座りますると

南生郡田

口だけゆすいでその女中が選んで 切りの力から按照のながし笛が帰ってくれた唇にむかつて居ると表 その親気にほだされて、彼女は 罪をしとするめられた。

計らつて古兵衛が自身でおむかへと 定出郷ませうほどに、その原を見 いまの者は火消役なれば必

大いても、まはり来る首の音を聞いても、まはり来る首の音を聞いても、まなり来る首の音を明まれています。 お定はお紙の耳元へのをつけては

の何間にお出でになるやらと私

打の銀かんざしを手に掘って獲冒 の 調ひました。今よひ変の頻送に響いないたしお数助いたす手はずがいいないたしお数助いたす手はずが けて出ていつた。

永年の便秘から 私はかうして数はれた

ではない。 はいよく最近で、要認な日を をしてをりましたが、題はしい効果も なり、株に便秘のために、一日 はなっましたが、題はしい効果も なり、特に便なのために、一日 はなのために、一日 はなのために、一日 はなのために、一日 はなのために、一日 はなのために、一日 はなのために、一日 に体験のお世話として、各方面 はないと く弱時に疼痛 く通りを見、変に「経験にる身種と と一の効力を感じ、は関一版を を過去、最近 く項 固◆ と一の効力を感じ、は関一版を をして、要認なして、要認なして、多方面 をして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、要認なして、を方面 をした。 をして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、要認なして、を表して、を方面 をして、要認なして、要認なして、を表して、を方面 をして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、要認なして、を表して、を方面 をして、要認なして、要認なして、を表して、を方面 をして、要認なして、を表して、を方面 をして、要認なして、要認なして、を方面 をして、要認なして、を表して、を方面 をして、要認なして、を方面 をして、要に、また、。 をして、要認なして、を方面 をして、要に、また、。 をして、要に、また、。 をして、要に、また、。 をして、要に、。 をして、。 をして、 をして、





女中はお客が食べ終つた際を下

解病を搾く事にもよりとし。 のみか、抵抗力の減退から種々の 癌疾の慢性となる

要ない、単ですが、これは要するによります。 に保む、海に温かのないので、海には、英國智島學者として有名なりますし、特の間にか結核や、心臓病を引いてあらい、海には、懐爐や腹巻を出して有名なのよいないないを表して変するのは、一般性の下側かを必要を表して有名なのよいなで腹部を温度を開かり、海化のよいな物をを受けるといる。やき起したのよいな物をで腹部を温度を開かるのようなが、海化のよいな物をで腹部を温度を開かる。やまでは、海には、大きので、海には、大きのからになった。

意「いつそ底之道を競して、それ」せつせと手を動かしてゐた。 組織を循環して、細胞の働きを助着な髯には、血液が活潑に胃腸の場合が活潑に胃腸の たかなくなつて、消化酵素 いのがは止み、蠕動も忽ち腰調 をなつて参ります。 となつて参ります。

日 下痢が趣ると、にて、手書をする機な人でも、便秘の場合は案外のです。 が、之は大髪な殿がです。 が、之は大髪な殿がです。 が、之は大髪な殿がです。 が、之は大髪な殿がです。 かったは大髪な殿がががなまたは鰻雑であれる一

便秘と腸中 年をとる 下劑を用ひぬ安全な便通法

用しだしてからは、標質がすなって、風邪もひかなくなって、風邪もひかなくなっにが開きある程です。 標準制かるとこのへーフェ菌を活性のましたのであります。

行え込みから起る 冬の胃腸カタル

下痢が長びくと永年の 痼疾となる事があります

